

地域資産確立室

District Asset Establishment Department

繋がりで築かれる資産を
大阪のまちに！！

我々の想い、行動が、
有機的な繋がりを築く



室長 山本 樹育
Shigenari Yamamoto

本年は、常任理事 地域資産確立室 室長として、「凛々しいまち大阪の実現」をめざして参りました。

地域資産確立室では、「繋がりで築かれる資産を大阪のまちに!!」をテーマに、社会を構成するメンバーである組織や個人は決して単体で存在しているのではなく、社会や世界を創造していく一員であり、その有機的な繋がりがこそが大阪のまちにとっての資産になると確信して活動を行ってまいりました。

社会を構成するメンバーである、企業やNPOなどの組織や個人は、それぞれの公(おおよけ)の存在としての責任を果たし、社会全体を広い視野から見て関係するもの全てに新たな価値を見出し、それぞれがお互いを補完し合って共に利をもたらしながら長期的に発展していかなくてはなりません。

当室では、大阪のまちに上記の資産を築くべく、揺るぎない資産確立委員会、世界連携推進委員会、大阪的外交推進委員会の3委員会がそれぞれの運動を推進してまいりました。

揺るぎない資産確立委員会では、JCI大阪に30年にわたって継続されている伝統事業であるTOYP(The Outstanding Young Persons)事業を中心として、社会のために持続的に価値を生み出していくことを理念として掲げ、関係するものに価値を生み出していく、持続可能な仕組みを持って世界中で活躍している社会イノベーターをピックアップし、大阪のまちに必要な資産の要素を広めました。

そして、世界連携推進委員会では、2010年より開始したPCY(Peace Conference of Youth)を中心に事業を展開してまいりました。PCYでは、世界の未来を担う日本の学生と世界中の学生たちが寝食を共にし、様々なプログラムから、世界と歴史の繋がりの中で生きている自分たちについて気づきを得て、我々が世界の未来のためにできることは何かを考え、共に行動へと移し、未来へと繋ぐための基礎を築きました。

さらに、大阪的外交委員会では、JCI大阪メンバー、大阪市民、世界を構成する一員として、まずは自らが果たすべき責任を果たすとともに、世界中のJCIメンバーを対象として単に親交を深めるのではなく大阪の特徴を加えた外交を行い、世界中のネットワークを活かして新たな繋がりを築き、その繋がりがから新たな価値を見出して参りました。

地域の資産となるのは、決して組織や個人単体ではありません。それらが有機的に繋がってこそ資産となります。しかしながら、その繋がりを築くのは我々自身です。まちのために我々ができることは何か、その想いが行動へと移り、繋がりが形成されていき、まちの資産となるのです。本年の我々の運動が、引き続き大阪のまちに資産を生み続けることを祈り、一年間のまとめとさせていただきます。



揺るぎない資産確立委員会

Secure Asset Establishment Committee

委員会基本方針

私たちは、時間と空間の広がりの中で存在している当事者としての責任を相互に全うし、互いに協力し合い未来を俯瞰的な視野から見据え、結び付けられた者同士が新たな吸引力を持ち、これからの時代に対応した公の価値を生み出す確固たる繋がりを築きあげます。



日 時：9月9日(金)～13日(火)
場 所：大阪市阿倍野区民センター
他
参加者：計画 300名
結果 334名

TOYP 事業

海外から傑出した青年を日本へ招聘し諸外国との民間外交として、30年前から大阪青年会議所が主催する事業であり、本年度は“社会イノベーター”をテーマに事業を実施しました。参加者が334名と、計画を上回る方々に参加頂き、学生を中心に未来を担う若者に勇気を与えることが出来ました。反省点としては、社会イノベーターを生みだすところまでは至らなかった点です。【工夫した点】確固たる繋がりを確立するために、TOYPメンバーとの交流を中心に事業を実施。



日 時：8月27日(土)
場 所：松下IMPホール
参加者：計画 180名
結果 119名

社会イノベーションフォーラム

社会イノベーターを周知すると共に、未来を創り上げる当事者としての責任感を醸成する事業です。事業を通して、多くの参加者に社会イノベーターの存在や役割について理解して頂けましたが、参加者が当初予定の180名に到達できませんでした。【工夫した点】NPO法人フローレンスの駒崎弘樹氏にご講演を頂くことで社会イノベーターを身近に感じて頂いた。

